

21年目の葉山

村山市立葉山中学校
学校だより
第18号
令和7年1月8日

新鮮な気持ちで、仲良く

校長 富塚 義幸

新しい年がスタートしました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。1月を「睦月」と呼びます。お正月には家族や親戚が集まり睦む（仲良くする・親しみ合う）ことから、「睦び月」が転じたと言われていました。また、始まりを意味する“元”という言葉から「もとつき」が「むつき」に変わったという説、稲の実を初めて水に浸す月という意味の「実月」に由来するという説もあります。今の**新鮮な気持ち**を忘れることなく、これからも**仲良く**『輝く未来へ』歩みを進めていきましょう。1月7日（火）、始業式の話（一部加筆）を紹介します。

新年あけましておめでとうございます。3学期46日間の始まりです。元気な皆さんと再会できて、とてもうれしいです。冬休み中の、二つの宿題

（1）「自分の命は自分で守る」＝**笑顔**で過ごす

（2）「自分で決めた活動をやり通す」＝**チャレンジ**する

の達成度はどうでしたか？身に付いた「笑顔」と「チャレンジ」をこれからもいかしてください。3学期は「まとめの学期」と言われます。スタートに当たり「まとめ」について考えてみます。「まとめ」とはどういうことでしょうか？国語辞典には、ばらばらのものをそろえて整った状態・望ましい状態にするとあります。それだけでしょうか？“大事な試験”の前日に、あるいは“大事な試合”の前日に荷物をまとめることを想像してください。私は、「まとめ」とは未来に生かすための準備と経験（次の機会に使えるようにすること）だと考えています。そこで終わりではなく、経験したことが発揮され次の行動につながるということが重要なのではないのでしょうか。成果だけでなく課題もあります。その課題（あって当たり前前の課題）を次の成果につなげることが大切です。3学期、3年生は卒業後の次のステージを見通して、1・2年生は先輩として来年度の学校生活を見通して、日々まとめていきます。その先に自分のさらなる成長があることを思い描き、一日一日を大切にしていきましょう。新年の抱負を述べた代表の話には、それぞれの目標と具体策が示されています。だいぶ年上の私ですが、個々の考え方に感化されました。生き方の参考にしたいです。生徒の皆さんそれぞれが、「どんな3学期にするのか」「どんな年にするのか」自分の頑張りたいこと（目標）をはっきりさせ、達成するための具体策を周りの人に聞いてもらう機会を設けてください。周りの人に言うと、「言ったからには頑張る」とさらにやる気になります。また、くじけそうになった時は励ましてもらえます。できた時は一緒に喜んでもらえます。**新鮮な気持ち**を忘れず、**仲良く**『輝く未来へ』力強く歩みを進めていきましょう。生徒の皆さんと先生方のますますの活躍を祈念します！



特集：決意を新たに！『校内書き初め』

「日本の伝統的な文化行事に触れさせ、緊張感のある中で新年のスタートを切れるようにする」、「毛筆に親しみ、字形や大きさ、配列を意識して文字を書く契機とする」ことをねらいに、『校内書き初め』が1月7日（火）開催されました。手本となるのは以下の内容です。

1年（楷書） 輝 け 未 来
2・3年（行書） 自 主 独 立

